

# これからの 介護予防・日常生活支援総合事業について

地域包括ケアシステム推進担当課長 江連  
平成29年10月23日

## 本日の講義内容

- 1.訪問介護の現状
- 2.足立区の総合事業について
- 3.訪問介護の将来を考える

## 1.訪問介護の現状

現在のヘルパー数・・・

人

複数の事業所に登録する非常勤ヘルパーがおり、  
正確な人数を掴めない・・・

## 1-1 現在のヘルパー利用状況

年	認定者計	65～74歳	75～84歳	85歳～	認定率
平成28年	31,084	5,140	13,970	11,974	18.64%

要介護5	3,679	923	33.28	30,721
要介護4	4,095	1,048	27.59	28,917
要介護3	4,244	1,308	21.98	28,749
要介護2	6,052	2,400	14.61	35,082
要介護1	4,593	1,452	10.74	15,599
要支援2	4,127	1,236	1.65	2,049
要支援1	4,294	770	1.34	1,032
合計142,149件				

### 1-2.足立区の高齢者人口の推移

年	高齢人口計	65～74歳人口	75～84歳人口	85歳以上人口
平成28年	166,435	87,571	60,421	18,443
平成30年	171,547	84,291	65,117	22,139
平成35年	173,561	74,129	67,044	32,388
平成40年	174,912	66,717	67,741	40,454

### 1-3.介護認定者数の推移（現在の認定率で推移した場合）

年	認定者計	65～74歳認定率 4.9%	75～84歳認定率 23.1%	85歳～認定率 64.9%	認定率
平成28年	31,084	5,140	13,970	11,974	18.64%
平成30年	34,377	4,947	15,056	14,374	20.04%
平成35年	40,880	4,351	15,501	21,028	23.55%
平成40年	45,843	3,916	15,662	26,265	26.21%

### 1-4.今後の課題（まとめ）

今後、生じるであろう状況は...

- ▶ 高齢者人口の増加 ⇒ 認定者が増える
- ▶ 地域医療構想の策定、介護療養型病床の廃止 ⇒ 在宅療養を行う重度要介護者の増加
- ▶ 生産年齢人口の減少 ⇒ 介護のみならず、全業界で人材不足が顕著となる

### 2-1.現在の足立区の総合事業について

- ▶ 足立区のルール
  - ・ 予防給付と同等のサービスを提供
  - ・ 単価は6%減額
- ▶ 切り替え時の対応
  - ・ 利用者は、原則、更新の際に、総合事業へ切り替える
  - ・ 事業内容の説明（事業所の指定、単価の減額など）
  - ・ 総合事業の再契約

- ▶ 現在の申請件数（平成29年6月1日現在）
  - 訪問型サービス 84事業所 / 39.4%
  - 通所型サービス 50事業所 / 28.7%

- ▶ 総合事業の利用者数

制度開始から1年経過したH29年9月1日の更新をもって100%切り替えとなっている。

## 2-2.平成30年4月までの流れ

- ①今後の指定までの手続き
- 平成29年10月 指定申請の通知
  - 平成29年12月 申請受付
  - 平成30年1~3月 申請書類の確認
  - 平成30年3月 指定許可通知の発送
  - 平成30年4月～ 全ての事業者が総合事業 (A3) でサービス実施

新規事業者	新規申請 (A3)	修正申請 (A3)	「A3」の申請をすれば、サービス提供可
	新規申請 (A3)	更新申請 (A3)	サービス提供なし
	未申請		
みなし事業者	新規申請 (A3)	更新申請 (A3)	「A3」の申請をすれば、サービス提供可
	未申請 (みなし、A1)	新規申請 (A3)	サービス提供可
		未申請	サービス提供なし

### 3-4.どのような課題が想定されるか？

- マネジメント上の課題
  - ① 事業所が指定を受けなかった場合
    - ⇒ 他の事業所への引継ぎが必要
  - ② 事業所の意向が不明な場合
    - ⇒ 早期の確認が必要 (指定申請は12月まで)
    - ⇒ 包括も含めて対応、区からの意向確認は困難

### 3.これからの訪問介護の状況

- 今後、生じるであろう状況 (再掲)
- 高齢者人口の増加 ⇒ 認定者が増える
  - 地域医療構想の策定、介護療養型病床の廃止 ⇒ 在宅療養を行う重度要介護者の増加
  - 生産年齢人口の減少 ⇒ 介護のみならず、全業界で人材不足が顕著となる

3-1. 将来の訪問介護の利用状況（推計）

年	認定者計	65～74歳	75～84歳	85歳～	認定率
平成40年	45,843	3,916	15,662	26,265	26.21%

  

要介護5	5,769	1,447	33,28	48,169
要介護4	6,402	1,638	27,59	45,206
要介護3	6,557	2,020	21,98	44,419
要介護2	8,949	3,548	14,61	51,875
要介護1	6,760	2,137	10,74	22,959
要支援2	5,690	1,703	1,65	2,824
要支援1	5,716	1,025	1,34	1,373

137,794件

3-2. これからどのように乗り切っていくか？

■ 訪問型サービスAの基準緩和の検討

- ① 研修の開催、研修受講者によるサービス提供  
⇒ 軽度認定者への生活支援の確保
- ② 介護事業所への所属と業務管理  
⇒ サービスの質の担保と介護人材の確保

3-3. 基準緩和にかかる体系

